



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2
43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週 日曜日 発行

お問合せは上記へ

北茨城市女性連盟主催 女性議員との懇談会

8月24日、市民ふれあいセンターで「女性議員との懇談会」が開かれました。

まず、主催した北茨城市女性連盟の野口不二子会長から、初めて取り組んだ昨年が好評で今年も開催する運びになった旨が話されました。さらに、昨年の懇談会で出された参加者からの

要望に応え、5人の女性議員の共同作業として、利用できる市内各公共施設の一覧表が提出されたこと、また市長に要望書を出し積極的な回答を得たことが報告されました。

各議員から自己紹介とともに活動の抱負が述べられた後、質疑応答となりました。



8月2日 ↑
同 24日 →



草刈り

大北川の堤防の草刈りが、ようやく管理者である県の手によって始まりました。例年よりだいぶ遅れ、市議団にも問い合わせがありました。水田などに隣接して農家が刈っているところ以外は、雑草が伸び放題でした。

た。テーマは多岐にわたり、食育、子どもたちが使える公園のあり方、輸入野菜の急増と地産地消への取り組み、不審者対策、市立病院問題、サーファアの受け入れなど、食卓のメニュー・街灯の設置から国際情勢まで活発な話し合いがなされました。

鈴木やす子議員は、「子どもや青年の痛ましい事故、理不尽な殺人事件などが増えている。背景には、見え、それは大人たちの責任にほかならない。学校教育における競争原理の横行、卒業してからの就職難、不安定雇用の増加。一人ひとりが大事に育てられていないことの反映ではないか。今の政治がすすめている庶民への負担増、とくに福祉・医療分野での



弱者切り捨ての政策のなかでの格差の広がりとも重なってくる。ひるがえって、地方政治で何ができるか。住民と一緒に考え、取り組んでいくという姿勢がとりわけ重要ではないかと心している」と述べました。

懇談で鈴木議員は、公園について、住民参加といえども行政や担当課自身も全体的取り組みを含め主導的に考えるべき責任があること、いっぽう輸入野菜の横行など国の政策に関わることで、たとえばBSE問題での米産牛の輸入再開に対し、地方議会として意見

ご相談はお気軽に



市議会議員
鈴木やす子
42-2462



市議会議員
福田 明
43-0468

「北茨城民報」はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>

編集部では身近な情報をお待ちしています。

農業散布ヘリコプター 作業日程の事前周知を

書提出をした経緯にふれたうえで、地元での地産地消にも取り組むことの重要性にふれました。また、一般質問でも取り上げているAED(体外式除細動器設置)については、全国で関心が高まって取り組まれていくだけに、議会だけでなく機会ある毎に皆で声を上げていきましようと呼びかけました。

ある市民の方から電話をいただきました。「すぐ近くを農業散布のヘリコプターが飛んでいた。稲作にとって必要なら、せめて事前に知らせてとお願いしてきましたが、いきなりだったのが驚いた」という内容でした。農協に問い合わせたところ、「病院や学校の周辺は避けているほか、広報車をまわしてはいるのですが」という回答でした。少なくとも作業日程の周知には一段の力を入れることを求めたいと思います。